

太平洋工業(株)

大垣市・自動車部品、電子機器製造業

平成27年度
認定

育休や短時間勤務の期間を延長するなどの制度拡充に加え、WLBの日を設定するなどワーク・ライフ・バランスの大切さを積極的に啓発。育児や介護の際に、社員同士が支え合う風土づくりに取り組む。

従業員数／男性1,635名 女性169名 計1,804名 ※平成31年1月現在

製造業

家庭との両立を全社で啓発

太平洋工業では、社員同士が支え合って仕事と家庭の両立に取り組む風土を育むため、「絆と成長」をスローガンにワーク・ライフ・バランスの啓発に力を入れている。2010年から11月に「WLBの日」を設定し、全職場にハンドブックを配布して標語を募集するなど



育児休業復帰支援プログラムで円滑な職場復帰をサポートする人事部の田宮亜矢子さん(左)と育児取得経験者の美濃羽真由美さん(右)。

理解促進を行ってきた。人事部の田宮亜矢子さんは「最初は言葉自体の認知度も低かったが、考え方の理解にも深まりを感じる」と話す。15年からは年休取得策として、1人年12日以上を目標に掲げた。4半期ごとに取得状況を労使で確認し、個別に取得フォローを行うことで、取得率の向上を推進している。

また08年から育児休業を就学前まで、15年から育児短時間勤務を小学5年前まで順次、延長するなど、支援制度も拡充。育児取得経験のある美濃羽真由美さんは「育休が1年間だった1人目の際は、保育園の途中入園に手間取ったが、制度変更で2人目は4月の入園まで取得。状況に応じて復帰時期が選べて助かる」と話す。さらに「育児休業復帰支援プログラム」を設け、復帰直前に希望の働き方などを



人事部では、社内の現状や求められる姿勢をまとめたWLBハンドブックを独自で製作し、配布している。

入念に確認するなど、円滑な職場復帰を心掛けた結果、取り組み後11年間の育休取得率は100%に。離職も減り、女性社員の平均勤続年数も男性を上回った。その他、社員のみならず地域の小学生を対象に、夏休み科学教室や環境教育などを開催し、幅広い子育て支援を行う。